
熊本県立美術館年報 ■平成30年度

は じ め に

熊本県立美術館の運営につきまして、日頃からご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。当館の施設概要や沿革、平成 30 年度の展覧会事業、美術品等の収集活動、教育普及活動などの概要をまとめましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

昭和 51 年(1976 年)3 月 4 日に熊本県の芸術文化振興の拠点として開館した当館は、平成 28 年(2016 年)3 月に開館 40 周年を迎えました。しかし、それから 1 か月が過ぎた同年 4 月、一連の「平成 28 年熊本地震」が発生。当館も美術品等に少なからず被害が出ましたが、幸い美術館の建屋に大きな被害はなく、地震から 1 ヶ月半後には美術館を再開することができました。以後、現在にいたるまで展覧会の開催と並行しながら被災美術品の修復や施設の修繕、さらには地震で被災した熊本県内の文化財や美術品のレスキュー事業にも取り組んで参りました。

当館の基幹をなす収蔵コレクションの展示につきましては、「細川コレクション」と「美術館コレクション」の両分野で「特集展示」を開催しました。細川コレクション展では、第Ⅰ期「武家の装いー巴螺鈿鞍と新しい熊本の宝」、第Ⅱ期「二の丸小さきもの倶楽部」、第Ⅲ期「武蔵、熊本にきたる!」、第Ⅳ期「没後 150 年記念 横井小楠とその時代展」。美術館コレクション展では、「没後 50 年フジタとパリの画家たち」、「祝いと吉祥の美術」などで収蔵する名品を紹介しました。

特別展・企画展では、永青文庫展示室開設 10 周年を記念した「細川ガラシャ展」、「佐々木耕成展」、「藤城清治一光と影のメルヘン展」、「山本二三ー日本アニメーション美術の創造者展」、「松本零士展」の 5 本の展覧会を開催することができました。いずれの展覧会も、充実した企画内容となりました。

美術品の収集活動においては、熊本ゆかりの油彩画家・野田英夫作で、《夏の省線ホーム》を購入したのをはじめ、同《パリの街》、《ニューヨーク》、山中神風《説話図屏風》、佐々木耕成、山口長男などの作品をご寄贈いただき、収蔵品の一層の充実を図ることができました。

教育普及活動では、11 校で実施したスクールミュージアムをはじめ、特別展に関する記念講演会、ミュージアムセミナー、子ども美術館、実技講座などを幅広く実施することができました。調査研究活動としては、平成 20 年度から継続している永青文庫からの預かり美術品調査を引き続き実施し、平成 30 年度は大名調度類の調査報告書を刊行いたしました。

開館以来 40 年を越えて、古今東西の美術を網羅する「総合美術館」として社会と広く深く繋がり、さらに多彩な魅力ある美術館をめざして参ります。また、熊本地震の災禍を通じて浮き彫りになった美術館としての課題を共有し、震災の教訓を語り継ぐことも、私たちの重大な責務であることを忘れずに美術館運営に取り組んでいく所存です。皆様方の更なるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

令和 2 年 3 月吉日

熊本県立美術館長 宮尾 千加子

目次

I 沿革	1
II 施設・設備	
■施設・設備の概要	5
III 事業の概要	
■平成30年度年間スケジュール	9
■展覧会記録	10
■浜田知明室	30
■装飾古墳室	32
■教育普及	33
IV 資料	
■観覧者状況及び事業報告	38
■収蔵品の概要	47
■購入・寄贈図書目録	56
■委員会等名簿	57
■その他	59